

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題  
事後評価報告書**

|          |                              |
|----------|------------------------------|
| 研究開発課題名  | 細胞外小胞を利用したバイオ医薬品の経口デリバリー法の開発 |
| 代表機関名    | 国立大学法人京都大学                   |
| 研究開発代表者名 | 高橋 有己                        |
| 全研究開発期間  | 令和元年度～令和3年度                  |

**1. 研究開発成果**

事後報告書(下 URL)参照

<https://www.amed.go.jp/content/000101262.pdf>

**2. 総合評価**

・ やや良い

**【評価コメント】**

細胞外小胞(EV)を利用したバイオ医薬品の経口デリバリー法の開発を目指し、EV の消化管での挙動などの基礎研究は評価でき、今後の EV 研究の基盤となる研究である。

しかし、経口吸収率の改善と薬理効果を示す検討項目は必ずしも十分な結果に至っていない。今後、経口デリバリーとしての可能性について多面的な検討をさらに進め、EV がバイオ医薬品の経口デリバリーとして活用、最適化されることを期待する。

以上